

(様式第4号)

上田市上野が丘公民館運営審議会 会議概要

1 審議会名	(第9期) 令和4年度 第2回上田市上野が丘公民館運営審議会
2 日時	令和5年3月7日 午前10時から午前11時30分まで
3 会場	上野が丘公民館 1階 第1学習室
4 出席者	青木茂友会長、小菅吉治副会長、杉崎千代委員、堀内絹予委員
5 市側出席者	馬場陽子館長、小林正樹次長、森広主任、堀絹子社会教育指導員、土屋一夫社会教育指導員
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年3月9日

協 議 事 項 等

1 開 会
2 あいさつ (会長、公民館長)
3 会議内容
(1) 市が自治会に依頼する各種委員の見直しについて
○事務局から経過を説明 (今後審議案件)
(質疑等なし)
(2) 令和4年度事業報告について
(3) 令和5年度事業計画について
○事務局から説明後、質疑等
・全体事業について
(質疑等なし)
・青少年育成推進事業について
(委 員) 自治会懇談会など講演会に参加し話を聞いて、そこで止まってしまう、その先へ続いていかない。先へ進める方法はあるか。懇談会後のアドバイスがあれば聞きたい。
(事務局) 講演会后、感想や意見交換をするなど参加者同士が思いを共有するグループワークを取り入れるなどの工夫や、懇談会の企画段階から役員同士で意見を出し合い、主体的に懇談会の準備を進めてみるのも一つの方法である。
併せて、人権同和教育は、まずは、話を聞いて学ぶことが大事になると思うが、青少年は、学ぶことも大事だが、地域の大人と子供が共に実践・体験をとおして共感しあう場とすることも重要なことであると思う。そういった場でつながりを持つことが、その先につながっていくのではないかと思う。
(委 員) コロナ禍でなかなか事業が進められない中で、夏にできなかったわいわい塾を、秋のミニバージョンとして開催してもらったことがありがたかった。「地域の子は、地域で育てる」を、これからも大切にしていきたい。
「地域に開かれた学校」として進めている信州型コミュニティースクールだが、地域によっては形骸化しているのではないかという声があがっている。地域の声を取り入れていきたいが、逆に地域の思いが薄れているように感じることもある。
(委 員) 放課後の児童の居場所として豊殿地域自治センターに開設されている「豊殿放課後児童ひろば」が開催する「ひろばまつり」がある。ボランティアとして地域の方も参加していたが、

学校の先生方にも来てほしいという思いがあった。地域から学校へ行くだけでなく、学校から地域にきてくれるとありがたい。子供たちも先生方とそういう場を共有できると身近に感じられる。学校と地域で共有できる場が足りないのではないか。そういう場があると良い。意識の共有ができていないのではないかと感じた。

(委員)「青少年の未来を考えるつどい」の参加対象者は誰か。

(事務局) 青少年育成推進連絡会議と青少年育成推進指導員会の方々を対象に参加依頼をした。

・人権同和教育推進事業について

(質疑等なし)

・高齢者生涯学習事業「上野が丘はつらつカレッジ」について

(委員) 令和5年度計画にある7月夏休み番外編の「ボッチャに挑戦！多世代交流」で学童保育所どろぐりに通う児童が参加するということだが、神科まちづくり委員会教育・文化部会でも関わりがあるので、ボランティアとしてお手伝いすることもできる。

(事務局) 初めての計画であり、『はつらつカレッジ』と『どろぐり』との交流も初めてのため、ご協力いただくと助かります。よろしくお願いします。

・利用者団体連絡協議会について

(質疑等なし)

・令和4年度修繕等の実績、令和5年度修繕等計画について

(質疑等なし)

(4) その他

・上田市使用料等算定に係る受益者負担のあり方に関する基本方針(案)の概要について

○事務局から経過を説明(今後審議案件)

(質疑等なし)

4 その他

特になし

5 閉 会